

森林・林業・林産業活性化議員連盟

8月30日

久万高原町に行ってきました

久万広域森林組合

久万高原町の道の駅

大規模加工施設導入の目的

久万高原町内の森林

は86%、その内スギが占める割合が70%、平均林齢は9齢級へと移行し、当時比較的価値

の低かったスギ中目材や曲がり材の需要拡大

が地域全体としての課題であった。また、産地として生き残りを考える中で検討を重ね、

① 外材に負けない生産効率を持った施設

② 全量乾燥及び製品の強度保証が可能な施設

③ 中目材・曲がり材の活用方法として集材生産を行う

以上3点を条件に平成9年度から用地造成

に着手し、平成13年度に一連の整備を終えた。

事業内容

現在、間柱、集成材、

ラミナ、ネダレスの生産を中心に事業展開している。

二酸化炭素排出削減事業

当事業所では、製品を乾燥するための蒸気式木材乾燥機の熱源として事業所内から排出されるカンナ屑を燃やす木材バイオマスボイラーを平成20年12月に設置。重油などの化石燃料を燃やすときに比べ、二酸化炭素の排出が大いに抑えられる。

間伐事業を林業事業体へ発注

団地化により計画に沿って間伐を実施することで国の有利な補助金を受けることができ、間伐事業を林業事業体へ発注することで、担手の育成及び確保にも力を入れている。

国道33号に沿い、高原野菜をはじめ地域の特産品の販売店、レストラン等があり、防災拠点施設も併設する。他にファストフードコーナー・体験展示研修室・地域情報提供室などがある。

天空の郷レストラン

地元食材を使った郷土料理や創作料理の昼食バイキングが好評。

物産館

高原野菜の本場、自慢の季節野菜、県下随一の品質を誇る特別栽培米などの直売所。

パン工房

食パン、フランスパン、惣菜パン、デザー

トパン、トマトなどの特産品を使ったオリジナルパンがある。

防災拠点施設「防災センター」

地域防災の拠点として、敷地内に自家発電設備、防火水槽、給水タンクなど、各種災害時に備えた施設を整備。災害時の道路利用者と周辺住民の一時避難場所となるほか、災害時の食糧、テント、生活用品などの備蓄倉庫も設置している。

久万高原町の概要

人口 8,857人(平成28年9月末日現在)
高齢化率 43.10%
合併 平成16年8月1日
面積 583.7km²
森林面積 52,518haうち国有林9,150ha(17.4%)、民有林43,368ha(82.6%)

